# 現代を生き抜くために——いじめ問題

いじめ問題についてじっくりと考えることができるように、全学年に、「いじめを許さない心について考える」ユニットを設けました。

クラスのいじめ対策につなげることができるように、各学年の早い時期（六月頃）に配置。「向上心、個性の伸長」「公正、公平、社会正義」「友情、信頼」など、さまざまな内容項目の教材で構成し、多面的・多角的に考えられるようにしました。

**2年**　「7 嫌われるのを恐れる気持ち」p.36



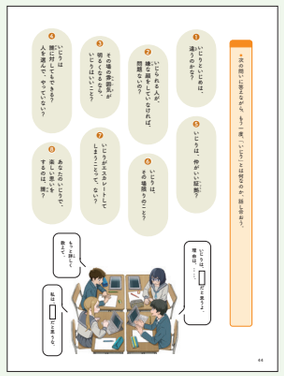

**2年**　「8 明日、みんなで着よう」p.39

**2年**　「9『いじり』って」p.43

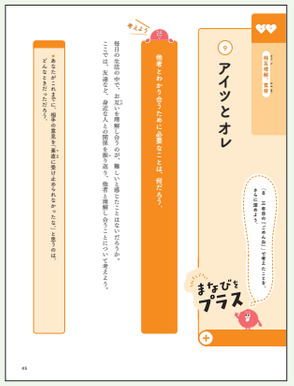
ユニットの３教材目には、「まなびをプラス」を配置。「まなびをプラス」は、前の時間に教材を読んで考えたことを、次の時間に自分に引きつけて考えたり、違う角度から迫ったりすることで、実感を伴った学びへと深めます。




**1年**　「9 いつもの教室の中で」p.44




**2年**　「9『いじり』って」p.43




**3年**　「9 アイツとオレ」p.45



# 現代を生き抜くために——生命の尊さ

光村の道徳では、各学年に三教材ずつ「生命の尊さ」の教材を用意し、生と死を巡って、さまざまな観点から生命について考えられるようにしました。

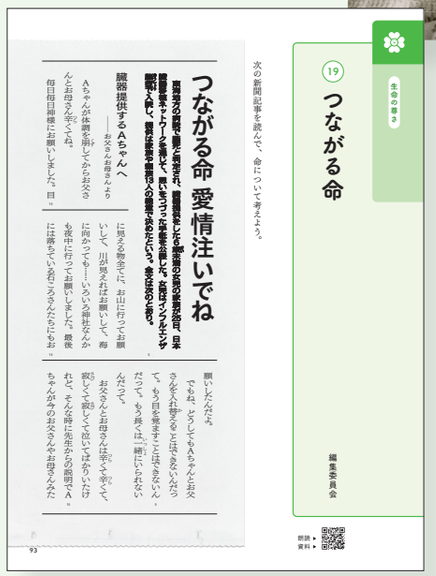
**1年**

**「29 エルマおばあさんからの『最後の贈りもの』」p.140**

エルマおばあさんの、最後の日々を通して、「命のすばらしさ」を考えます。



**2年**　「19 つながる命」p.93




臓器提供をした娘への手紙から、「命のつながり」について考えます。

**2年**　「5 命が生まれるそのときに」p.25



命が生まれる瞬間に立ち合う筆者の姿を通して、「生きること」について考えます。

**3年**　「33 命と向き合う」p.164

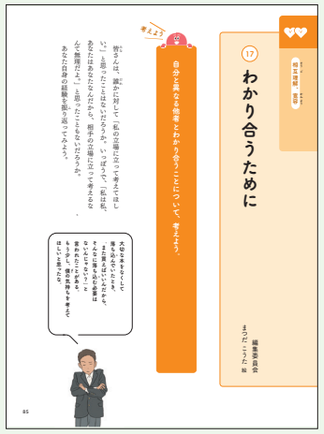


中学校３年間で学ぶ「生命の尊さ」の最後となる教材では、生命について考えるうえで特に大切な三つのことを確認し、かけがえのない命を「思い切り生きること」について考えます。

## 現代を生き抜くために——
# 情報モラル

中学生の情報端末の使用率は、非常に高くなっています。それならば、よりよい付き合い方を、生徒たちと共に考えていきたい。「節度ある使用の範囲とは？」「インターネット上のコミュニケーションの在り方とは？」生徒の身近な問題を通して、道徳的価値について考えていきます。

### 1年生では……




1年 「17 わかり合うために」p.85

自分と異なる他者とのコミュニケーションについて学んだ後に、節度のある端末の使い方について考えます。



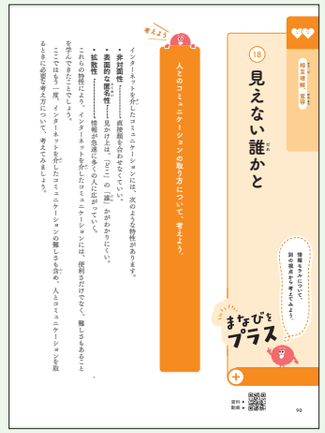
1年 「18 使いすぎって、どういうこと？」p.89

### 2年生では……

インターネットに夢中になるメカニズムについて学んだ後に、SNS上での「ブロック」の適否について考えます。



2年 「17 夢中になるのは悪いこと？」p.85



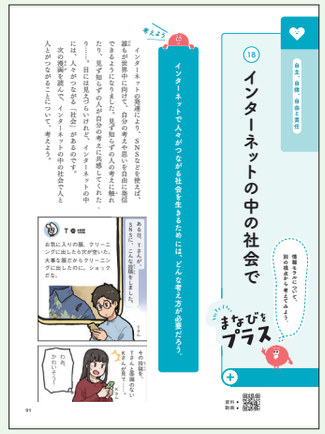

2年 「18 見えない誰かと」p.90

### 3年生では……

無断アップロード（著作権）とSNSでの「炎上」について学びます。



3年 「17 漫画泥棒」p.87




3年 「18 インターネットの中の社会で」p.91



## 現代を生き抜くために——
# 防災

地震、津波、噴火、豪雨、台風、土砂災害——。自然災害に見舞われる可能性は、誰もがもっています。教材を通して過去に学び、生徒一人一人が防災の意識を高められるようにしました。



1年 「12 ひまわり」p.56

東日本大震災の語り部活動を行っている、佐々木清和さんを取り上げた教材です。



2年 「14 段ボールベッドへの思い」p.66

災害時に避難所などで使用される、段ボール製のベッドを作っている会社を取り上げています。



3年 「24 希望のカレンダー」p.117

東日本大震災後に、岩手県釜石市を訪れた筆者が、希望とは何かを考えます。

（写真は、2019年に釜石市で行われたラグビーワールドカップの様子。）




3年 「コラム 防災 自然災害と向き合う」p.102

災害時に身を守るために、普段から備えておくこと、災害が起きたときの行動などを、動画にまとめています。

文部科学省の示す「防災教育の目的」にある
①必要な準備をする力
②災害から身を守る力
③地域の安全を支える力
に沿ったコラムを掲載しています。

## 現代を生き抜くために——
# キャリア教育

生徒が自己の生き方や進路を考えられるように、
キャリア教育を意識した教材を掲載しました。

### 1年生では……

一人一人の働く理由に迫り、働くことの原動力について考えます。





1年 「24 私が働く理由」p.112

### 2年生では……

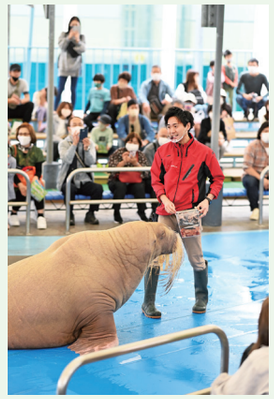
職場体験活動と関連できるように、
「社会の一員として働くとは?」というユニットを設けました。

- 16 **自然愛護** 僕の仕事場は富士山です
- 15 **社会参画、公共の精神** 我が町の消防団
- 14 **勤労** 段ボールベッドへの思い
- 13 **礼儀** 礼儀は何のため

### 3年生では……

一人一人がそれぞれに働くことに対する思いをもちながら、
集団として大きな仕事をやり遂げている水族館という
場所を例に、働くことの意義について考えを深めます。





3年 「14 働く姿から見えるのは?」p.72



## 現代を生き抜くために——
# 世界の中の日本を意識して

現代のさまざまな課題は、国や地域を越えて取り組まなければ、解決することが困難です。生徒が他者を理解し、進んで世界の人々と共存していける素地を養えるような教材を用意しました。



## ジェンダー平等

友達の存在について、
ジェンダーの問題とも関わらせながら、
考えることができます。

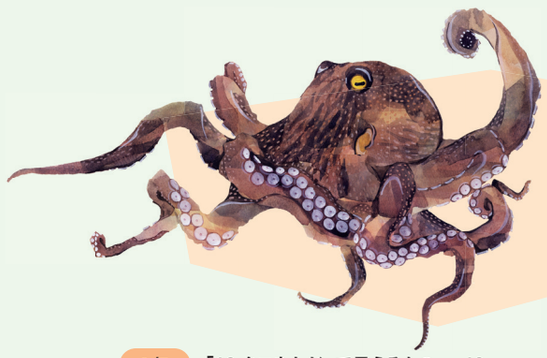
1年 「7 親友」p.34

## 民主主義

少数意見を尊重することの大切さを
考えることで、民主主義の在り方について
考えを深められます。



2年 「21 民主主義と多数決の近くて遠い関係」p.101



## 環　境

身近な食材であるタコを通して、
環境問題について考えます。

3年 「12 タコをたどって見えるもの」p.60

## 平　和

ルワンダで義肢を作る工房を
設立した吉田真美さんの姿から、
国際理解について考えます。



3年 「30 希望の義足」p.151

# 現代を生き抜くために——年間を通しての学び

幾つかの教材が関わりながらテーマに向かって考えられるようにユニットを構成しています。よりよく生きることについて、さまざまな観点でアプローチできます。

（一年を例に）

1 道徳の学習を始めよう
2 父の言葉
3 自分で決めるって？
4 学習机
5 「養生訓」より
6 席を譲ったけれど
やってみよう 自分の気持ちを相手に伝えるには
7 親友
8 魚の涙
まなびをプラス いつもの教室の中で
9 いつもの教室の中で
10 レタス博士
11 みんなで成功させよう
12 ひまわり
13 夢を諦めない——「ねぶた師」北村麻子
14 見方を変えると
15 裏庭での出来事
16 「ソーセージ」の悲しい最後
コラム 環境「生物多様性」を知ろう
17 わかり合うために
まなびをプラス 使いすぎって、どういうこと？
18 使いすぎって、どういうこと？
やってみよう 今日の「てつがく」
なんだろう なんだろう
19 僕の家族、地球の家族
20 初めてのボランティア
21 動物の命——私たちにできること
22 仏の銀蔵
23 白いスニーカー
まなびをプラス 私が働く理由
24 私が働く理由
25 私の話を聞いてね
26 差別の根底にあるものは？
27 むこう岸には
コラム 人権 私たちのもっている人権って？
28 レオナルドと僕
29 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」
まなびの準備 自分が暮らす地域の特長を思い浮かべてみよう
30 自分の地域の「宝」って？
31 銀色のシャープペンシル
32 命の木
まなびをプラス 「感動」の本質を探ろう
33 撮れなかった一枚の写真
34 一年間の学びを振り返ろう
35



中学生として、どんな自分でありたい？

1年 「3 自分で決めるって？」p.16



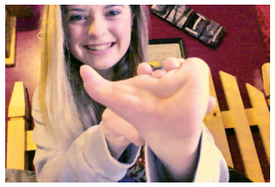
よりよい学校生活を送るためには？

1年 「11 みんなで成功させよう」p.51



情報モラルについて考える

1年 「18 使いすぎって、どういうこと？」p.89



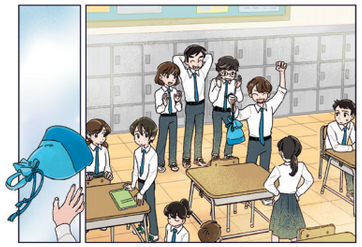
共に生きるために大切なこととは？

1年 「25 私の話を聞いてね」p.118



これから、どんな自分になりたい？

1年 「31 銀色のシャープペンシル」p.150



いじめを許さない心について考える

1年 「9 いつもの教室の中で」p.44

自分の行動に責任をもつとは？
A 希望と勇気、克己と強い意志
A 向上心、個性の伸長
A 自主、自律、自由と責任
D 自然愛護

ユニットは、テーマに関わるゆるやかなつながりをもった内容項目で構成されています。



社会の一員として生きるためには？

1年 「24 私が働く理由」p.112



よりよい社会をつくるためには？

1年 「30 自分の地域の『宝』って？」p.145